

檜葉町駐在現地確認概要(平成30年1月4日～1月5日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
1月4日	Fエリアにおける浄化ユニット等の設置状況の確認	Fエリア	<p>○5・6号機建屋滞留水については、Fエリアの貯留タンクを経由し、淡水化装置により淡水化処理されているが、濃縮水は貯留タンクへ戻されている。しかし、再濃縮を繰り返すと、塩分の影響でRO膜が詰まりやすくなり、最終的に処理が滞るおそれがある。このため、対策として浄化ユニット等を新設することから、設置工事の進捗状況を確認した。</p> <p>確認時、作業は行われていなかったが、エリア南側には浄化ユニット処理水の受入タンク4基及び建屋滞留水貯留タンク1基が新設されていた。浄化ユニットの設置については、支障となる淡水化装置は撤去されていたが、基礎工事は始まっていなかった。</p>	8時42分現在
1月5日	2号機CS系配管のPE管化工事の実施状況の確認	2号機タービン建屋1階	<p>○2号機原子炉注水設備のCS系配管について、タービン建屋内のフレキシブルチューブに部分的に曲がり箇所があり、応力がかかりやすいことから、12月中旬にフレキシブルチューブをPE管に取り替える工事が行われた。今回、その実施状況を確認した。</p> <p>目視で確認した範囲では、フレキシブルチューブが計画どおりPE管に取り替えられていることを確認した。</p>	10時03分現在
	窪地に設置されているサブドレンピットの雨水流入防止対策の実施状況確認	1、2号機原子炉建屋周辺	<p>○窪地に設置されているサブドレンピットの暫定的な雨水流入防止対策については、12月21日に2箇所について実施状況を確認したところであるが、今回、残り2箇所について現場確認を行った。</p> <p>前回確認したサブドレンピットと同様に、ピット周囲には土のうが設置されており、孔口から雨水が流入しないよう対策が実施されていることを確認した。</p>	
	J2タンクエリア付近で発生した急結材の漏えい現場の確認	J2タンクエリア	<p>○1月5日、J2タンクエリア付近で急結材(コンクリートの固化を促進するもの)の漏えいが発生したとの情報が入ったことから、現場確認を行った。</p> <p>漏えいした急結材は、水飴状に固まっており、外部への流出は確認されなかった。現場にいた東京電力社員によると、今後、へら状のもので剥がし、別の容器に回収するとのことであった。</p>	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。